性たち、「(昔の)賃づき

雑煮などにしてふるまう女 る青年労働者、手早く丸め、

助

け

精神40

牟

掛け声と共に杵を振り上げ

手渡しました。威勢の良い 無料で蒸し、つき、丸めて 持ち寄り、それを労働者が

人ひとりの意見を大事に団 う」と呼びかけました。

もあります。

「組合では一

生活と権利を向上させよ

をしっかり続け、労働者の

う誠実に対応するが、民間

るの? 理解を得られるよ かったら実施をやめてくれ

れた「団結もちつき大会」

に粘り強く闘おう」と開か

子さん(南市岡三)はNPO

参加者の一人、今野マス この雰囲気を全国に

れました。港区地域女性団

体協議会と港区コミュニテ

てきた中川由美子さん (市

岡) と柏原さん (南市岡)

などと声をかけて下さると

い」と話していました。

ない活況。品物を両手に出 と、たちまち身動きが取れ な雰囲気が印象的でした。 地域と労働者一体の和やか そうに語り合う高齢者―。 を思い出すなぁ」と懐かし

六日、港区民センターで「年

ぶ会場に区民がなだれ込む

祉に役立てよう」と十二月 られた日用品が所狭しと並

「家庭に眠る品を社会福

午後一時、区民から寄せ

年末バザー

今年も大盛況

みなとの会員。「一臼ついて

ィ協会が主催。四十回目

大不況の中でも餅のよう

労働運動粘り強く

南市岡で団結もちつき大会

港

一餅のように粘り強く労

動する「NPOみなと」が

ワイワイ過ごすのは、年末

が、餅を頂きながら大勢で 違う。毎年参加しています

らしいええ風景ですね」。

と話していました。 雰囲気が全国へ広がれば

共催。三十九回目。

結もちつき大会」が十二月 働運動を!」と伝統の「団

十九日、南市岡の田中機械

日から水に浸けていた)を

は区内の金属系企業に勤め

た入村高司さん(三四)(市岡)

中村吉政副委員長が「規模

午後の集会では港合同の

元気に杵を振り上げてい

て半年、港合同の組合員で

時頃から次々と餅米 (前 予約していた人々が朝十

同労組「港合同」と『平和 で開催されました。地域合

こ福祉』をキーワードに活

人間で言えば体のど真

ん中を抉られたようなも

天間基地の航空写真を見れの。生きていけない」―普 ば、沖縄の人々のこの言葉 無条件に即時閉鎖・返還し こんな世界一危険な基地は の意味がよく分かります。 留している米海兵隊は、イ

間基地問題とは何でしょ かありません。 そもそも米国の言う普天 米軍は殴り込み部隊 ラク、アフガニスタンへの

う。それは辺野古に新基地 拠点としての役割を更に発 地も強化し、海兵隊の出撃 を建設し、グアムの米軍基 する〝殴りこみ部隊〟であ専ら他国への出撃を任務と 部隊〟などではありません。 って、決して『日本を守る *減兵を繰り返しており、

提今 言月 者の ん (71)

日本外交の礎」として「抑

Ιţ

鳩山首相は一日米同盟が

もらいましたが、やっぱり **人間がついたお餅は粘りが**

地域への思いを自由に述 さんに開放しています。 べて頂けるよう読者の皆 るから基地を提供してもら 米国は「日本を守ってい 日米同盟の点検こそ

このスペースは、社会や

止力の維持」を強調します

いう米軍本位の考えです。 揮できるよう再編成すると

それが証拠に、沖縄に駐

うのは当然」と言いますが、

冷戦時代の遺物を徹底して

け出し、「日米同盟」という が、今こそこの呪縛から抜 年に数十回も立ち寄ること に核弾頭を発射できる戦略 をはじめ、周辺海域では常

港であったがゆえに壊滅し 大問題であると同時に、核 た港区の住人として、この 界の人々にとっても看過で のない平和な世界を願う世 きない問題です。かつて軍 沖縄と日本の進路に関わる らいたいと強く望みます。 を持って交渉に当たっても の恫喝に怯むことなく勇気 普天間基地問題―それは 核なき平和な世界へ

一危険な普天間基地は 即時閉鎖・ り続け、今や四つ。その下 問題ではありませんか。 同盟のような軍事同盟は減 再点検してみるべきです。 目を世界に向ければ日米 減り続ける軍事同盟 そが日本の主権と安全、そ して世界の平和を脅かす大 てきたのです。 このことこ 核潜水艦の作戦行動が続い

な国でも対等平等の外交が にある国と人口は一六%。 歴代政府は国民をだまし続 が世界の主流となり、小さ 一紛争は平和的手段で解決」 原則になっているのです。 縄「密約」に見られるように ところが日本では核・沖 民大会で小学六年生の渡具 受けて昨年十一月、沖縄県 設に政治生命をかけたい」 間基地の県外・国外への移 とまで言いました。これを かつて岡田外相は一普天 「約束を守って!」

約でさえそれぞれの防衛は

「自助」(第三条)となって

その根拠とする日米安保条

おり、米軍は「日本の安全

に寄与」(第六条)、つまり

支援はしても直接防衛する とまでは定めていません。

日本各地の米軍基地や 知武龍君が次のように問い かけました。

港に攻撃型原子力潜水艦が 守って下さい」。 このまっ ではないでしょうか。 すぐな叫びこそ、沖縄の心、 のですか。『基地は造らな す。鳩山首相、約束は必ず い』はとても大切な約束で たことを守らなくてもいい 「大人になると、約束し の ?

想いとして受け止め、米国 民主党政権はこれを我が

問題が正しく解決されるこ とを心から願うものです。

が身近に感じられるこのよ く人が大変な時代に、組合 結する姿が新鮮でした。働 身動きがとれない盛況ぶり だった年末日用品バザー



年来る方が『今年も来たよ』 す。ただ盛況すぎるので、 売り手の女性(磯路)は「毎 大、会場係の設置など安全 配置の工夫や売り場の拡 者の楽しみにもなっていま 足。売上を社会福祉にとい うバザー の趣旨は素晴らし く、家にこもりがちな高齢 | 蛍光灯を安く買えて満 く続いたと感慨無量です。 子会長(パペ)は「四十年もよ

それまでの苦労も吹き飛び ます」と話していました。

年は百二十五万円でした。 頃には二百万円を突破。 売上が百万円を、平成十年 的に発足。五十四年頃には の後は徐々に減り続け、今 節目の回を終えた港区地 このバザー は昭和五十 ″歳末助け合い″ を目

後も責任を負い、指導する

保護者の理解が得られな

の? 設置主体として委託

体でよく相談して決めた たからです。ただ品物集め あり、次回は未定。主催団 たのも区民のご協力があっ 性会の奮闘と地域のご協力 集まるのは十一地区の各女 変ですが、それでも何とか 品物集めの根回しが毎年大 に年々苦労していることも の賜。事故なしで続けられ

委託」通告。戸惑う保護者 主なやりとり(要旨、文責 がこれまでに市と交わした 【1面のつづき】 成・反対を問うことは考え 委託は市の方針だから、賛

本紙) は次の通りです。 の? 基本的にはない 保育内容は引き継がれる 新たな保護者負担はある 引き継がれる。その ていない なお残る疑問・不安

内緒のまま

でも対応OK!

..

引き継ぎ②委託後一年間は えば三歳児二十人に保育士 め、①保育士の配置基準(例 五名が残って委託先の新職 所長を含む委託前の保育士 の献立、障害者やアレルギ 年間行事や指導計画、給食 ため、①委託前の四カ月で 員と一緒に保育してもらう 状況などについて具体的に 付ける―等の対策をとる る評価を受けることを義務 なるよう努め③第三者によ なく②職員の経験年数など - 児を含む児童 - 人 - 人の はバランスのとれた構成と 一人など) は現在と変わり の? 維持される。そのた 保育の質は維持される 市はずっと責任を負う っておられると思います。 くなる」など不安や疑問の 委託されたら選択肢が少な のなさから混乱が予想さ また、引き継ぎ時には余裕 ロシアンルーレットのよう そ子供を入れたのに、民間 テランの多い公立やからこ 供に来ます。キャリアのあ な不安をどのお母さんも持 どこに当たるか分からない ることも考えられますが、 次のように話しています。 かける天野千浪さん (準備 声が根強く残っています。 は一卒所後、お世話になっ 特色を生かした保育がされ い法人に当たれば、そこの 会代表、一歳女児の母親)は なくなるのは悲しい」「ベ れ、そのしわ寄せは結局子 た保育士さんに会いに行け 一民間委託されても、 「保護者会」設立を呼び この他にも保護者の間で

「不安や疑問を出し合い 託の撤回も含めた誠実な対 表の天野さん(☎〇九〇-合わせや激励などは同会代 応が求められます。 たち。大阪市には、民間委 保護者会準備会への問い

合う田中保育所のお母さん たち (12月、区内で) 大阪市と交渉しましょう」 と保護者会結成などを話し nami@k.vodatone ne.jp) まで。 九八六四一七四八九、chi

安心して

で採用されない恐れがある 子供たちの将来のために 我が子だけでなく、地域の ことも不安を募らせます。 る保育士さんがコスト重視 めに立ち上がったお母さん 挙げ、力を合わせなければ も、いま私たち母親が声を いけないと思っています 我が子や地域の未来のた 撤回も含めた対応を

違法なグレーゾーン金利の被害者になっていませんか?!

弁護士の無料法律相談実施中、 お任せ下さい! あなたに合ったベストな解決方法はあります《秘密厳守》

大阪弁護士会所属 黒川・谷 法律事務所 弁護士 黒川 勉(置有連登録) 大阪弁護士会所属 黒川・谷 法律事務所 弁護士 谷 憲和(日昇連登録) 親切、ていねい、 気軽に相談できる

北区西天満2-8-1大江ビル411号室 地下鉄・京阪「淀屋橋駅」歩7分、JR「大阪駅」歩15分 ☎**06-6130-7880**代〈受付:月~金曜/10~18時〉